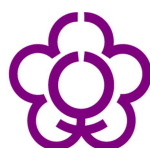


# 令和5年度予算案のあらまし

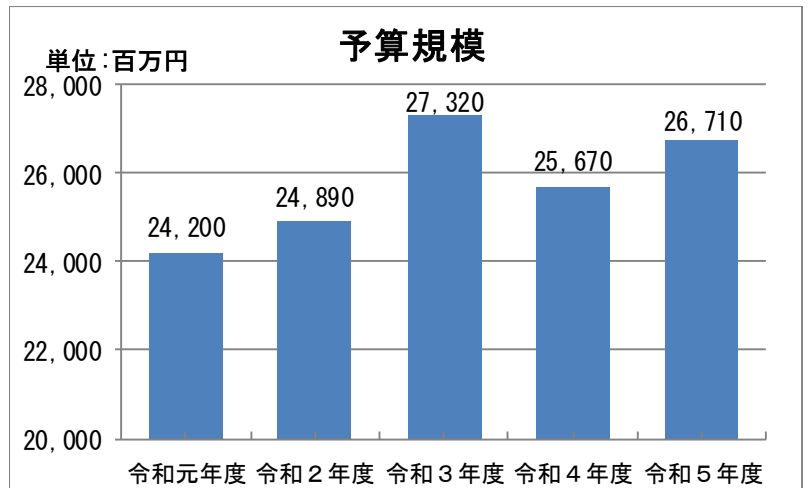


天 理 市

# 『令和5年度予算案』

◎一般会計予算 26,710 百万円  
 (対前年度比 1,040 百万円、4.1%増)

◎全会計予算合計 47,256 百万円  
 (対前年度比 735 百万円、1.6%増)



## 一般会計 歳入

[主な歳入の状況]

### ①市税

市民税については、新型コロナウイルスの影響もあるものの、令和4年度の決算見込額等を踏まえ、前年度当初予算より95百万円(3.4%)の増加。固定資産税についても、家屋および償却資産の増加により、51百万円(1.5%)の増加を見込んでいる。市税全体では、1億76百万円(2.4%)の増加。

### ②地方交付税

基準財政需要額の増加を見込み、前年度と比較し73百万円(1.2%)の増加。

### ③国庫支出金

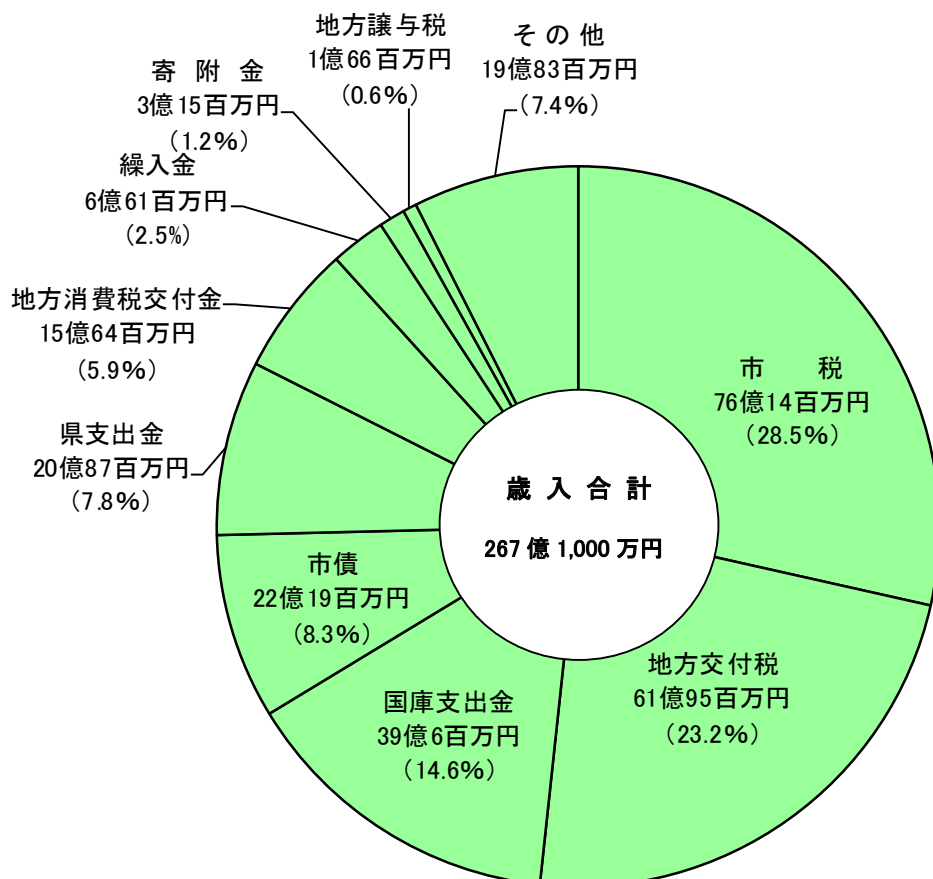
子どものための教育・保育給付費負担金等は増加するものの、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や学校施設環境改善交付金等の減少により、前年度と比較し5億57百万円(12.5%)の減少。

### ④市債

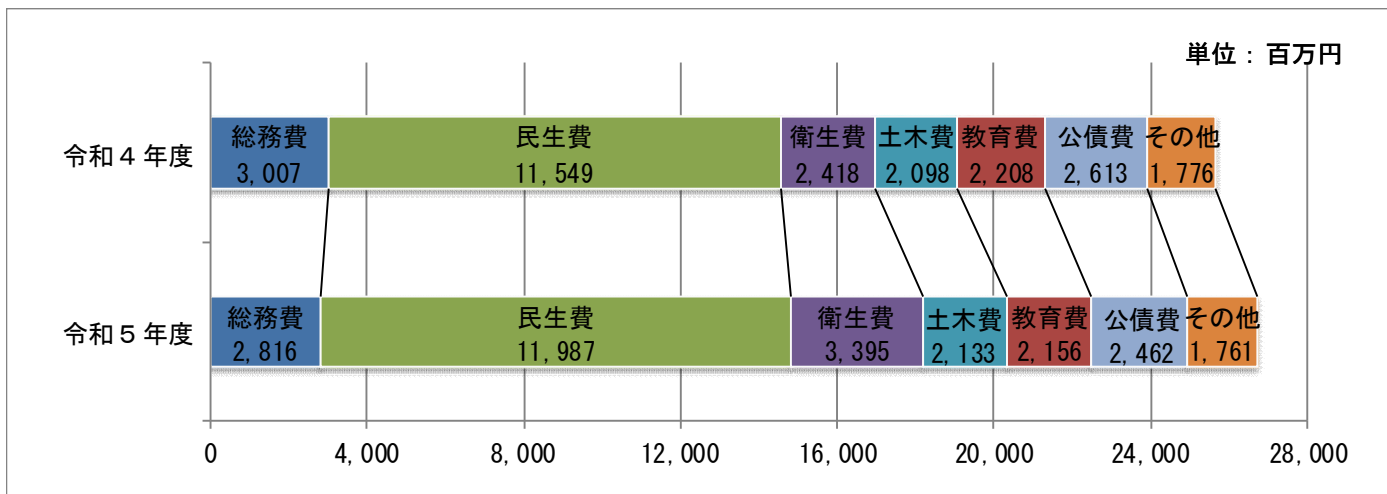
北中学校整備事業債や臨時財政対策債等の減少があるものの、新クリーンセンター建設事業にかかる整備事業債の増加により、前年度と比較し14億25百万円(179.4%)の増加。

### ⑤繰入金

財政調整基金の繰入金の減少により、前年度と比較し2億33百万円(26.0%)の減少。



# 一般会計 歳出



〔主な目的別歳出の状況〕

## ①民生費

民生費の予算額は119億87百万円で、前年度と比べ4億38百万円(3.8%)増加しており、歳出全体の44.9%を占めている。内訳は、社会福祉費(障害者福祉、老人福祉等)が53億84百万円、児童福祉費が53億38百万円、生活保護費が12億64百万円等となっている。

【主な増減】保育所建設工事費、障害福祉サービス介護給付費、障害児通所給付費、子ども医療助成費の増加

## ②衛生費

衛生費の予算額は33億95百万円で、前年度と比較し9億77百万円(40.4%)増加しており、歳出全体の12.7%を占めている。内訳は、保健衛生費が6億73百万円、清掃費が27億22百万円となっている。

【主な増減】(仮称)天理市清掃管理事務所等建設工事費及び山辺広域一般廃棄物第2最終処分地閉鎖工事費の皆増、山辺・県北西部広域環境衛生組合分担金の増加

## ③教育費

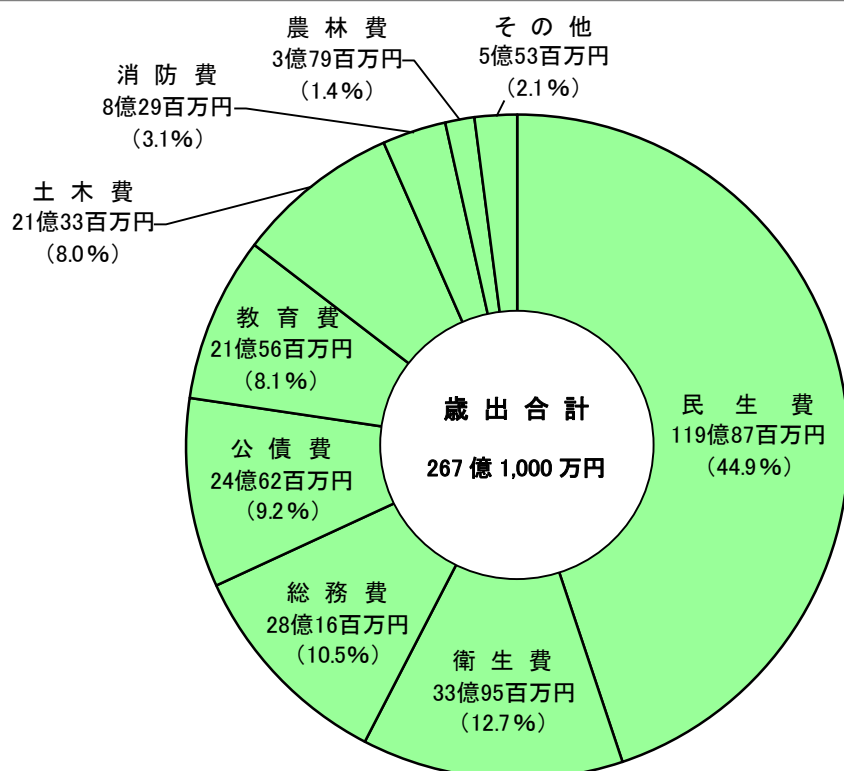
教育費の予算額は21億56百万円で、前年度と比較し52百万円(2.4%)減少しており、歳出全体の8.1%を占めている。内訳は、小学校費が3億60百万円、中学校費が1億88百万円、幼稚園費が4億69百万円、保健体育費(学校給食費)が4億27百万円等となっている。

【主な増減】北中学校整備工事費・同工事にかかる校用備品費の皆減、各小学校改修工事費の減少

## ④土木費

土木費の予算額は21億33百万円で、前年度と比較し34百万円(1.6%)増加しており、歳出全体の8.0%を占めている。内訳は、道路橋りょう費が2億54百万円、都市計画費が16億22百万円等となっている。

【主な増減】道路修繕工事費、河川修繕工事費、橋りょう調査委託料の増加



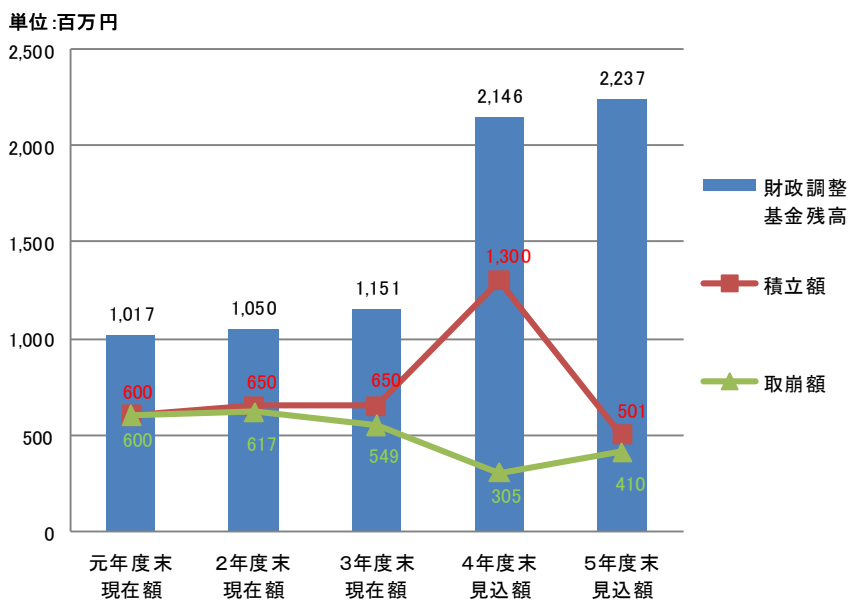
# 財政調整基金と市債

## 財政調整基金

令和5年度財政調整基金の取崩額は4億10百万円となり、前年度当初予算を2億20百万円下回ることとなった。令和5年度末財政調整基金の残高見込額は、22億37百万円で推移するものと見込む。

(令和4年度取崩額)

当初予算 6億30百万円  
補正後 3億5百万円

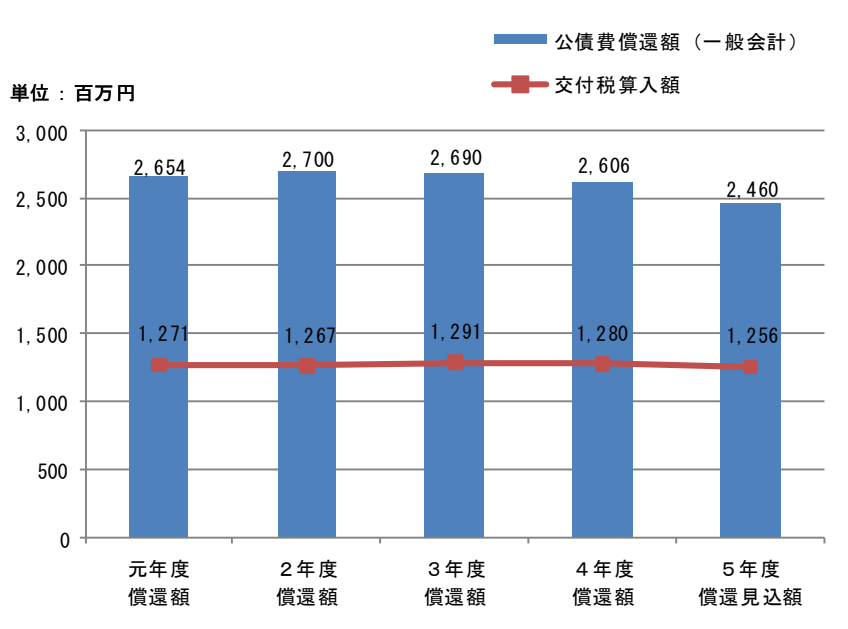
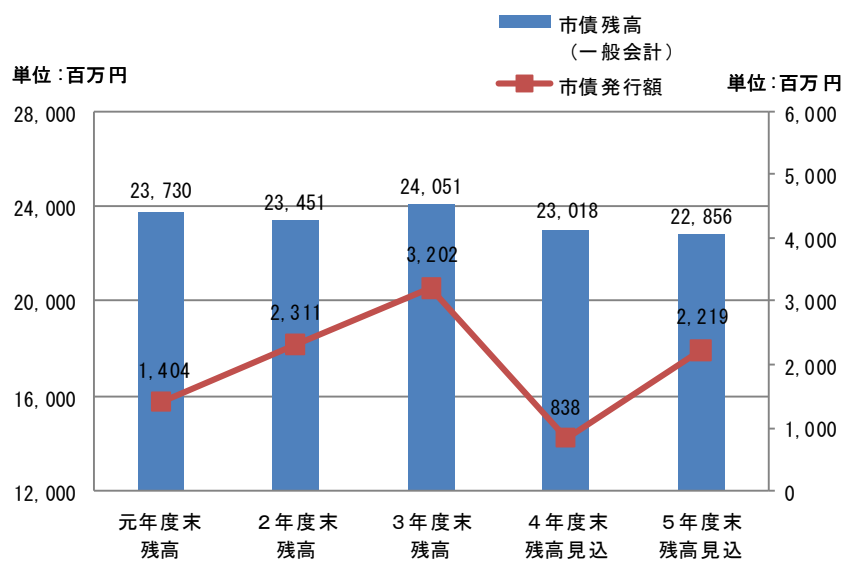


## 市債

令和5年度市債発行額は、22億19百万円となり、前年度当初予算を14億25百万円上回ることとなった。北保育所建替工事や新クリーンセンターの建設負担金に関する建設事業債が増加することが主な原因である。

令和5年度末の市債残高は、228億56百万円（前年度比1億62百万円減）で推移するものと見込む。

令和5年度市債償還額は24億60百万円（前年度比1億46百万円減）となる見込みである。そのうち12億56百万円分（51.1%）については地方交付税により措置される予定である。



**五つの柱** 「福祉」、「教育」、「安全・安心」、「地方創生」および「行政サービス」の五つを基本目標として、それぞれの施策に重点化した予算編成を行いました。

【新規】…新規事業 【拡充】…拡充事業 【創生】…地方創生推進事業

R5当初予算額

I 誰もが地域で安心して健やかに暮らせる「福祉」の充実	
・心身障害者医療費助成	74,580 千円
・障害者介護・訓練等給付費	1,727,084 千円
・地域生活支援事業費	98,461 千円
・妊婦一般健康診査費用助成（H T L V・性感染症検査 他）	44,575 千円
・精神障害者医療費助成	39,720 千円
・予防接種、感染症予防事業の実施	191,229 千円
・特定健診、肝炎検診、各種がん検診等の実施	40,392 千円
・一般介護予防事業（S I Bによる活脳教室実施事業 他）	15,242 千円
・在宅高齢者を対象とした支援事業	12,478 千円
・認知症対策推進事業（S I Bによる学習療法実施事業 他）	1,281 千円
・生活支援体制整備事業【拡充】	25,324 千円
II 地域と共に、一人ひとりの豊かな未来を育む「教育」の充実	
・子育て支援事業	10,945 千円
・北保育所建替事業	416,800 千円
・放課後児童健全育成事業の充実	141,236 千円
・出産・子育て応援給付金事業【新規】	22,772 千円
・少子化・孤独・孤立等対策応援事業【新規】	3,500 千円
・子ども医療費助成事業【拡充】	162,828 千円
・魅力ある学校・園推進事業	1,010 千円
・学校・地域パートナーシップ事業	5,074 千円
・コミュニティ・スクール運営事業	794 千円
・ロイロノート・スクール活用事業	3,952 千円
・各小学校改修事業	11,012 千円
・西中学校改修事業	24,717 千円
III 市民の命と暮らしを守る「安全・安心」のまちづくりの実現	
・防犯灯LED化事業	16,136 千円
・防犯カメラ設置補助	900 千円
・防犯電話購入費補助事業	300 千円
・非常備消防事業	43,988 千円
・交通安全施設整備工事	24,500 千円
・河川改修工事（河川修繕工事 庵治池 他）	51,960 千円
IV 活力ある地域社会に向けた「地方創生」の推進	
・地域通貨活用促進事業【新規】	48,870 千円
・大和高原「福住村」プロジェクト負担金事業【創生】【拡充】	9,900 千円
・多世代活躍・関係人口創出事業【創生】	6,667 千円
・移住促進事業【創生】	250 千円
・なら歴史芸術文化村滞在アーティスト誘致交流事業負担金【創生】	1,500 千円
・ワークショップ等の体験を通じた人材育成連携事業【創生】	500 千円
・アーティスト育成「共創」プロジェクト事業【創生】	500 千円
・映画地域活性化事業【創生】	500 千円
・芸術・文化振興イベントの開催	4,724 千円
・デジタルコンテンツ発信拠点管理運営事業【創生】	638 千円
・天理ブランド認定事業【創生】	592 千円
・「共創場」としての天理ブランド市開催事業【創生】	1,760 千円
・地域経済活性化事業補助金【創生】【新規】	1,553 千円
・しごとマッチング支援事業【創生】	800 千円
・光の祭典開催事業	2,200 千円
V 新しい時代に適応した持続可能な「行政サービス」の実現	
・地方創生デジタル専門人材派遣事業【新規】	8,000 千円
・スマート自治体推進事業	22,113 千円
・マイナンバーカード交付推進事業【拡充】	59,918 千円

# 新しい未来に向けた「共に支え合うまちづくり」

## ○地域通貨「イチカ」活用促進事業

地元消費の喚起と支え合いのまちづくりに循環を生み出すことを目的に、令和4年8月からデジタル地域通貨「イチカ」の運用を開始しています。

令和5年度では、プレミアム付イチカチャージカード販売事業、子育て世帯へのイチカによる給食費等家計支援事業に加え、出産・子育て応援交付金事業にもイチカを活用します。また、生活支援ボランティアやゴミの減量化・資源化及び健康増進活動に参加した市民へのポイント付与などを実施するとともに、消費ポイントの一部を地域活動の支援にあてることで支え合いの促進を図ります。

地域通貨活用促進事業 48,870 千円

### 【令和4年度補正予算】

プレミアム付イチカチャージカード販売事業 64,236 千円

給食費等家計支援事業 83,247 千円



## ○出産・子育て支援事業

「こども家庭庁」の設置など国における子どもに関する政策が進められていく中、本市においてはこれまでから取り組んでいる、妊娠から出産・子育てまで切れ目のない支援をより充実させるとともに、子どもや子育てを地域全体で見守り、支援することで、負担や不安を軽減して安心して結婚・出産・子育てができる環境を構築します。

少子化・孤独・孤立等対策応援事業 3,500 千円

ファミリーサポートセンター事業補助金 1,000 千円

北保育所建替事業 416,800 千円

子ども医療費助成 162,828 千円

(対象年齢を高校生世代まで拡大)

民間保育施設運営支援 1,177,927 千円

(新規民間保育施設2園開園予定)

### 【令和4年度補正予算】

出産・子育て応援交付金事業 46,974 千円

出産・子育て応援交付金事業 22,772 千円

新生児聴覚検査事業 1,336 千円



## ○「みんなの学校プロジェクト」と教育環境の充実

学校を地域の絆づくりの拠点とし、地域の子どもを地域のみんで育てる「みんなの学校プロジェクト」では、学校教育と地域の公民館活動の協働として、地域の方と共に学び合う活動を通じて互いの学びを深めるとともに、学校に設置した食品残渣発酵分解装置の活用などを通じて地域の方と共に環境問題について考え行動できる仕組みを構築します。

また、GIGAスクール構想により一人一台端末が整備され、ICTを活用した授業が展開される中、より主体的・対話的で深い学びを推進するため、市立小学校の5・6年生の普通教室、中学校の特別教室に電子黒板を導入するとともに、読むこと・書くことに重点を置いたワークシートを活用して、児童生徒の視野を広げながら学力向上を目指します。

電子黒板導入事業 4,220 千円

学力向上推進事業 1,291 千円

部活動総括コーディネーター配置事業 1,293 千円



## 大和高原「福住村」プロジェクト

天理市高原地域では、高原地域の自然豊かな環境や地域資源を活かした持続可能な循環型の里山暮らしの実現を目指し、官民連携による様々なプロジェクトを立ち上げています。農業分野では、地元農家とプロジェクトのパートナー事業者が協力し、「あじまるみ大根」の無農薬栽培など高原地域の付加価値の高い新たな商品作物づくりに取り組んでいます。また、旧福住中学校では地域交流イベント「市」の開催やバイオマスユニットを活用した炭づくりなど、高原地域の活性化に資するプロジェクトを官民連携により推進しています。

令和5年度はこれまでの取組に加え、まちづくり活動を地域住民が身近に捉え、実践していくきっかけとなる「福住村塾（ふくすみそんじゅく）」を開催します。有機農業や食と健康、里山づくりなどの学びを通じ、地域住民を主役にした自立参画型地域を作ることを目指します。

また、以前はお茶の一大産地であった高原地域に点在する放棄茶畑を活用し、オーガニックのお茶づくりにも取り組みます。地域での有機農業の推進を図るとともに、農家、住民及び民間事業者など地域が一体となって、中山間地域の循環型農業のモデルとなるような地域づくりを進めていきます。

大和高原「福住村」プロジェクト負担金 9,900 千円

有機栽培支援事業 2,000 千円



## 自治体DXの推進

自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）への対応が求められる中、本市においても行政手続きなどのオンライン化を推進し、手続きの簡略化と来庁時の待ち時間の短縮を図ってきました。令和4年度末からは国のオンライン申請を利用することで、子育てや介護に関する手続きにもオンライン化を拡充し、一部市役所に来なくてもよい窓口を実現します。こうしたオンライン化の推進とともに、申請サポートなどのマイナンバーカードの交付支援についてもきめ細やかに取り組み、より多くの方にご利用いただけるデジタル市役所を目指してまいります。

また、AI-OCR、RPA等の先進技術の効果的な活用を進めるとともに、更なるDX推進にあたり内閣府が創設した地方創生人材支援制度（デジタル専門人材派遣）を活用してICT推進専門官として民間企業から人材を受け入れます。現行のDXの取組の再検証や今後の計画・立案に専門家の助言と指導を受け、より効果的なデジタル化の推進を図ります。

スマート自治体推進事業 22,113 千円

地方創生デジタル専門人材派遣事業 8,000 千円

マイナンバーカード交付推進事業 59,918 千円



## 北保育所建替事業

北保育所は、昭和48年に建設され50年が経過しており、老朽化が著しく既存園舎の建て替えが必要となっています。建替えに際し、工事中の安全面や園運営の観点から検討した結果、市営住宅東側の櫛本グラウンドへの移転が決定しました。令和3・4年度に基本・実施設計を行っており、令和5年度に建設工事に着工、令和6年度中の完成を予定しています。

北保育所建替事業 416,800千円

令和5～6年度

事業費総額：1,057,155千円



## 広域塵芥処理施設整備事業

### ○新クリーンセンター施設建設負担金

奈良県下10市町村で構成される山辺・県北西部広域環境衛生組合では、令和3年度から令和7年度にかけてごみ焼却施設（エネルギー回収型廃棄物処理施設）及び粗大・リサイクル施設（マテリアルリサイクル推進施設）の建設を進めています。地域振興にも寄与する施設として令和7年5月に稼働するべく、両施設ともに令和5年度より本格的な工事が始まります。

令和5年度天理市負担金 1,066,633千円

### ○（仮称）天理市清掃管理事務所 整備事業

新クリーンセンターの整備に伴い、現在天理市環境クリーンセンターで行っている業務のうち、ごみの焼却及びリサイクル処理等については山辺・県北西部広域環境衛生組合に業務を移管しますが、ごみの収集作業及び受入れ検査は引き続き市の業務として残ります。これら市業務を行うため、新しく建設されるマテリアルリサイクル推進施設に隣接して（仮称）天理市清掃管理事務所を整備し、機能移転を行います。

清掃管理事務所はパッカー車等の車庫、収集作業員の詰所、市管理事務所等で構成されており、新クリーンセンターが稼働を予定している令和7年5月に同時開業できるよう、令和5年度から建設工事を行う予定です。

